

平成 28 年度 第 2 回地域医療支援病院に関する委員会

| | | |
|-------|---|--|
| 開催日時 | 平成 28 年 9 月 27 日(火) 13 時 30 分から 14 時 10 分まで | |
| 開催場所 | 大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室 | |
| 議 題 | 前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて | |
| 出席委員 | <p>委員長 大垣市医師会長 山川 隆司</p> <p>副委員長 大垣歯科医師会長 片野 雅文</p> <p>委員 大垣市医師会理事 近藤 潤一郎</p> <p>委員 大垣歯科医師会副会長 荻下 雅仁</p> <p>委員 大垣薬剤師会長 松本 正平</p> <p>委員 大垣女子短大 看護学科教授 伊藤 恒子</p> <p>委員 大垣市連合婦人会長 竹中 昌子</p> <p>委員 岐阜県西濃保健所長 稲葉 静代</p> <p>委員 弁護士 鈴木 一朗</p> | |
| 公開区分 | 公開 | |
| 傍 聴 人 | なし | |
| 審議概要 | <p>1. 報告事項</p> <p>1) 前回開催時の課題に対する報告</p> <p>(前回開催時の課題) ①開放型病床の利用率が低いので、周知を図ってほしい。②市民病院の複数科を受診されている一人暮らしの患者さんで、認知症が進み服薬管理ができない状態の方がいる。訪問した看護師が困っているのでは何か良い方法はないか。</p> <p>(事務局) ①8 月から実施している開業医訪問の際、開放型病床についての説明と利用啓発をしており、利用件数は徐々に増えている。②薬剤部に相談したところ、院外処方であれば複数科から処方される内服薬の一本化は可能であった。そのようなケースでは、まずはよろず相談・地域連携課に連絡を貰って、当課から薬剤部に連絡し、そこから各科の主治医に院外処方の指示を出していただくように依頼した。ただし、ご本人にも院外処方の説明をする必要があるのでは、依頼元と連携を取っていきたい。</p> <p>(委員) 開放型病床の説明をして、効果が上がっているのか。</p> <p>(事務局) 利用方法を説明した結果、少しずつ利用が増えている。</p> <p>(委員) 小児科の先生があまり利用されないのでは、今後説明をお願いしたい。</p> <p>(事務局) 小児科で、どうしても入院したい患者さんの場合は、開放型病床を利用していただければ入院できる、と説明している。</p> <p>(委員) 小児科の先生が市民病院に送られるということは、点滴などで 2、3 日診ていただきたいということなので、開放型病床の説明をしてもらえるとありがたい。</p> | |

2.報告事項

(1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②紹介医からの診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況について報告した。

①紹介率……28年4月～8月:65.3%

逆紹介率…28年4月～8月:121.7%

②紹介診察件数…28年4月～8月計:5,051件

紹介検査件数…28年4月～8月計:569件

③開放型病床登録医数…28年8月末:101人(医科86人、歯科15人)、
利用率…28年4月～8月:11.5%

④救急受診患者数…28年4月～8月計:17,396人(月平均3,479人)

救急車利用件数…28年4月～8月計:4,225件(月平均845件)

救急入院患者数…28年4月～8月計:1,105件(月平均221件)

⑤地域医療従事者に対する研修…28年4月～8月開催数:12回、
参加人数計:1,569人(院外148人、院内1,421人)

＊病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、がん診療委員会、
在宅医療研修 等

市民対象の講演会等…28年4月～8月開催数:7回、
参加人数計:245人(院外216人、院内29人)

＊市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室、出前講座等

⑥地域連携クリニカルパス登録状況…28年4月～8月登録総数383件

28年8月末時点におけるパス開始からの登録総数:5,553件

⑦OMNet 利用状況…28年8月末時点 利用者数:101人

患者同意者総数:10,519人

(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。

(事務局)地域連携を介した予約で、診察の方は少しずつ数字が伸びているが、検査件数が前年度比較すると減っている。この原因について、開業医の先生からのご意見をお伺いしたい。

(委員)検査に関しては、「結果がこうでした、ご参照ください。」と返事が来て、よく分からないので、また問い合わせる、ということがある。例えば、今後どのようにフォローしていけば良いのか、そこまで突っ込んだ返事をお願いしますと、自分は書くようにしている。だったら検査を目的として診察を兼ねて診察で紹介するということが有る。

(委員)救急受診患者が減ってて、救急車の利用が増えているというのは。

(事務局)今まで割と軽傷の方が多く来られていたのが、そういう方が減ったということだと思われる。

(委員)特別初診料5,400円が効いているのだろうと思うが、救急車を利用すると、かからない。

(事務局)それについて調べたが、救急車を利用すべき症状の患者が増えたということで、これは救急の先生にも確認した。

(委員)紹介率は4月から大きく上がったのか。

(事務局)60%を初めて超えたのが4月である。

(委員)地域連携クリニカルパスで、C型肝炎と狭心症が増えたということで、これらのパスを出す努力をしていただいていると思うので、またよろしくお願ひしたい。

OMNetに関して、同意患者人数の推移を見ると凄い勢いで増えているが、最近あった故障はサーバダウンか。

(事務局)最近故障した理由は機械部品が壊れたため、画像が一部見られなくなってしまった。サーバが壊れた訳ではないのでカルテが見られないということは無かったが、復旧するのに半日程度かかってしまった。

(委員)それは患者数が増えたからではなくて、機械の方の問題であるということか。

(事務局)患者数ではなくて機械の問題であった。

(委員)同意患者数は1万人を超えているが、まだ行けそうか。

(事務局)何人でも、という訳にはさすがに行かないが、画像に関しては一時期、公開用サーバの容量が少なかったので増やした。次回の電子カルテ、OMNetの更新まで足りるように増量したので、今のところは心配無いと思う。

(委員)これはとても良いツールなので、開業医訪問などの際に他の先生にも使ってもらうようにぜひ話していただきたい。市民病院で検査を受けたら帰りに紹介医院に寄ってもらって説明する、ということもできるし、一部の先生だけが使っているというのではいけない。なるべく故障などがないよう、サービスをお願いしたい。

OMNetに関する要望で、自由に心電図を見られると良いが、現在はかかりつけ医から「何月何日の心電図を見せてほしい。」と言わないと見られない。

(事務局)心電系のデータはMFERという形式だが、MFERのデータを医療連携という形で公開するための標準規格がまだ無く、それを公開しようとする、現在は無理やりPDFにして公開するしかない状況なので、手動作業になっている。

(委員)どういう発作があったのか、というキーポイントの心電図が見られると、とてもありがたい。

(委員)開放病床は、とても使いやすく、時間外でも救急に取りあえずお願いして、といった使い方のできるもので周知をしていただきたい。一度でも使ってみると、入院の適応が、夏場であれば脱水みたいなことから、発熱で困ってみえる方であるとか、例えば骨折して動きがとれないからしばらく診てほしいとか、いろんな使い方があると思うので、まだまだこれから周知してもらいたいな、と思う。

OMNetを結構利用しているが、自分なりに使っている、十分にこのシステムから読み取れていないのかな、という想いが有る。実際にOMNetを動かしながら、病院の中で研修会をやっていただけるとありがたい。開放病床の使い方であったり、地域連携パスの注意点であったりを、病診連携の会で大々的にやられるのも良いが、OMNetの勉強会として開業医の先生方で20人くらい集まるとディスカッションもできる

| | |
|------|---|
| | <p>しスキルも上がるのでお願いしたい。その際、利用の多い人だけが参加するという形になりがちなので、利用の多くない人にも声をかけて来ていただくようなことをしてもらえると良いと思う。</p> <p>(事務局)医療連携ネットワーク委員会に伝えて、講習会を開催するよう伝える。</p> <p>(3)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>① 4月から8月までの患者さんからの電話予約件数の、全体予約の件数からの割合は5パーセント前後で推移をしている。大垣市の患者さんからの予約が圧倒的に多い。診療科別では歯科口腔外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、小児科の順であった。</p> <p>② かかりつけ医紹介センター相談件数は、今年度4月から8月までは、前年の4月から8月までの109件に対して同数の109件であった。</p> <p>(4)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</p> <p>(委員)電話予約の場合、FAXを送って患者さんが自分で予約する場合、どれぐらいの有効期間か。例えば患者さんが1か月も行かなかった場合は、連絡があるのか。</p> <p>(事務局)開業医の先生からFAXをいただいてから1週間の間に患者さんからお電話がなければ、こちらから患者さんにお電話し、患者さんが予約日を決めていただくまで連絡を続ける。</p> <p>2. 検討事項等</p> <p>(委員)歯科医師会の方で開放病床の登録をする先生を募集して、登録をお願いしている。ただし、歯科の場合はどのようなケースで利用させていただいたら良いのか、と検討している。できれば少しずつでも利用が増えるようにしたい。</p> <p>(委員)OMNetについて他の委員が言われたとおり、ユーザーが集まって講習会が開催されると、色々な意見も伺えるし、スキルもアップできる。とても有益なご意見だと思うので、よろしくお願いしたい。</p> |
| 次回開催 | 平成28年度第3回は平成28年12月16日(金)に開催予定とする。 |